



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ビースタイルホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 302A URL <https://www.bstylegroup.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三原 邦彦
 問合せ先責任者(役職名) 取締役会長 (氏名) 増村 一郎 (TEL) 03(5363)4400
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	8,922	6.5	170	△6.8	161	△12.5	43	△65.3
2025年3月期第3四半期	8,381	—	183	—	183	—	124	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 43百万円(△65.6%) 2025年3月期第3四半期 127百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	29.65	28.53
2025年3月期第3四半期	115.12	95.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,935	1,307	33.2
2025年3月期	4,150	1,263	30.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,307百万円 2025年3月期 1,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,743	13.6	160	△50.5	128	△60.6	32	△83.6	22.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	1,452,825株	2025年3月期	1,449,600株
2026年3月期3Q	一株	2025年3月期	一株
2026年3月期3Q	1,451,317株	2025年3月期3Q	1,078,327株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明動画の入手方法)

当社は決算補足説明動画を決算発表後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、物価上昇に伴う個人消費の弱さはあるものの、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復が見込まれます。その一方で、米国の通商政策、海外景気の減速、為替相場の急激な変動、中東やウクライナ情勢などの地政学リスクの高まり、日中関係の冷え込みに起因するインバウンド需要の縮小、原材料価格の高騰など、景気へ影響を及ぼす懸念材料も多く、企業業績を取り巻く不透明な状況は継続しております。

当社グループの属する人材サービス業界の市場動向については、日本国内の有効求人倍率は1.18倍と堅調に推移しております。企業においては少子高齢化に伴う構造的な人手不足への対応が慢性的な課題となっており、採用ニーズの拡大や人材の流動化が今後さらに進むことが予想されます。また、人材の活用形態や働き方の多様化、ワークライフバランスを重視する価値観の変化など、個人のライフスタイルのニーズに合わせた働き方を提供することが一層求められております。

このような状況のもと、当社グループは世界を変えるソーシャルカンパニーとして、経営理念であるパーパス(PURPOSE) 不変の存在意義を、時代合わせた価値を創造する、バリュー (VALUE) 大切な価値観を、四方よし買ってよし・売ってよし・世間よし・仲間よし、ミッション (MISSION) 果たすべき使命を、社会課題をビジネスで解決する、ビジョン (VISION) 目指す未来を、かかわる全ての人があわせとし、そのもとに業績の向上と企業価値の増大に努めてまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、連結売上高8,922,064千円(前年同期比6.5%増)、売上総利益4,292,041千円(前年同期比19.8%増)、営業利益170,881千円(前年同期比6.8%減)、税金等調整前四半期純利益139,625千円(前年同期比24.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益43,033千円(前年同期比65.3%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(派遣・紹介事業)

派遣・紹介事業は、豊富な経験・高いスキルを有する自走型人材の人材派遣、オフィスワーク経験豊富な主婦を中心にパート型派遣・紹介のサービスを展開しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、人材派遣事業における稼働人数の減少に伴い、人材派遣売上が減少いたしました。一方で、人材紹介事業では紹介予定派遣の入社決定数の増加に伴い、人材紹介売上が増加いたしました。また、新規事業のメディカル領域事業は、事業立ち上げが順調に進み、堅調な受注となりました。以上の結果、売上高が5,070,836千円(前年同期比5.4%減)、セグメント利益217,025千円(前年同期比32.3%減)となりました。

(メディア事業)

メディア事業は、しゅふの労働力を求める企業と働く条件の多いしゅふのお互いのニーズを満たした情報を提供する、求人サイト「しゅふJOB」の運営を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、CM放映エリアを関東、関西圏に加え中京圏へ拡大したことでブランド認知が向上し、求人への応募数も増加しました。以上の結果、売上高が3,240,490千円(前年同期比28.5%増)、セグメント利益1,066,578千円(前年同期比38.9%増)となりました。

(DX事業)

DX事業は、BPA(ビジネス・プロセス・オートメーション)事業、ITエンジニア派遣・業務委託サービス事業を展開しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、BPA事業においてRPA関連の大型案件の納品が完了し、ITエンジニア派遣・業務委託サービスでは、ビジネスパートナーの人材を活用した受注獲得が好調に推移したことで増収となりました。以上の結果、売上高は731,141千円(前年同期比21.4%増)、セグメント利益40,755千円(前年同期比11.7%減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、障がい者雇用推進、当社グループ内業務代行サービスを提供しております。売上高は84,939千円

(前年同期比15.2%増)、セグメント利益20,527千円(前年同期比12.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ215,289千円減少し、3,935,425千円となりました。流動資産合計は前連結会計年度末に比べ245,278千円減少し3,429,471千円となりました。これは現金及び預金が197,145千円減少、売掛金が86,098千円減少したことによるものであります。固定資産合計は前連結会計年度末に比べ29,989千円増加し、505,953千円となりました。これは主に有形固定資産、無形固定資産の取得により153,112千円増加した一方、拠点集約に伴う事務所退去に係る有形固定資産の減損損失の計上および減価償却により114,600千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ259,755千円減少し、2,627,792千円となりました。これは主に長期借入金が107,100千円、未払法人税等が62,606千円、未払金が42,029千円、賞与引当金が43,984千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ44,466千円増加し、1,307,632千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が43,033千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2025年5月15日に公表の業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,400,255	2,203,109
売掛金	1,160,988	1,074,889
仕掛品	—	13,100
その他	126,834	153,928
貸倒引当金	△13,328	△15,555
流動資産合計	3,674,750	3,429,471
固定資産		
有形固定資産	198,058	180,533
無形固定資産		
のれん	—	7,491
ソフトウェア	187,316	244,049
リース資産	19,928	11,775
その他	1,289	1,254
無形固定資産合計	208,534	264,571
投資その他の資産		
投資有価証券	26,890	27,961
繰延税金資産	9,100	2,151
その他	44,879	37,735
貸倒引当金	△11,500	△7,000
投資その他の資産合計	69,370	60,849
固定資産合計	475,964	505,953
資産合計	4,150,714	3,935,425

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	384,982	369,453
1年内返済予定の長期借入金	142,800	142,800
リース債務	12,140	12,261
未払金	448,669	406,639
預り金	91,372	128,285
未払法人税等	123,716	61,109
未払消費税等	135,837	117,346
賞与引当金	108,044	64,060
その他	10,048	8,921
流動負債合計	1,457,611	1,310,877
固定負債		
長期借入金	1,378,700	1,271,600
リース債務	10,240	1,029
資産除去債務	40,997	40,997
その他	—	3,289
固定負債合計	1,429,937	1,316,915
負債合計	2,887,548	2,627,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	309,519	309,864
資本剰余金	235,269	235,614
利益剰余金	714,240	757,274
株主資本合計	1,259,029	1,302,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,135	4,879
その他の包括利益累計額合計	4,135	4,879
純資産合計	1,263,165	1,307,632
負債純資産合計	4,150,714	3,935,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
売上高	8,381,196	8,922,064
売上原価	4,799,099	4,630,022
売上総利益	3,582,096	4,292,041
販売費及び一般管理費	3,398,669	4,121,159
営業利益	183,427	170,881
営業外収益		
受取利息及び配当金	327	2,142
助成金収入	13,629	5,913
貸倒引当金戻入額	1,500	4,500
その他	530	738
営業外収益合計	15,988	13,295
営業外費用		
支払利息	13,347	21,954
支払手数料	750	750
その他	1,322	466
営業外費用合計	15,419	23,170
経常利益	183,996	161,006
特別損失		
固定資産除却損	0	12
減損損失	—	21,368
特別損失合計	0	21,381
税金等調整前四半期純利益	183,996	139,625
法人税、住民税及び事業税	55,913	86,681
法人税等調整額	3,940	9,910
法人税等合計	59,854	96,592
四半期純利益	124,141	43,033
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,141	43,033

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	124,141	43,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,973	743
その他の包括利益合計	2,973	743
四半期包括利益	127,115	43,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,115	43,776

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額
	派遣・紹介 事業	メディア 事業	DX事業	その他の事 業 (注1)	計		
売上高							
外部顧客への売上 高	5,330,387	2,503,067	544,499	3,241	8,381,196	—	8,381,196
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	32,388	18,066	57,760	70,484	178,699	△178,699	—
計	5,362,776	2,521,133	602,260	73,726	8,559,895	△178,699	8,381,196
セグメント利益	320,550	767,974	46,173	18,284	1,152,983	△969,556	183,427

(注) 1. 「その他の事業」は、障がい者支援を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△969,556千円は、セグメント間取引消去等の調整額及びグループ管理費が含まれております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額
	派遣・紹介 事業	メディア 事業	DX事業	その他の事 業 (注1)	計		
売上高							
外部顧客への売上 高	5,031,399	3,214,370	669,086	7,208	8,922,064	—	8,922,064
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	39,437	26,120	62,054	77,731	205,344	△205,344	—
計	5,070,836	3,240,490	731,141	84,939	9,127,408	△205,344	8,922,064
セグメント利益	217,025	1,066,578	40,755	20,527	1,344,887	△1,174,005	170,881

(注) 1. 「その他の事業」は、障がい者支援を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,174,005千円は、セグメント間取引消去等の調整額及びグループ管理費が含まれております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	派遣・紹介 事業	メディア 事業	DX事業	その他の事 業	計		
減損損失	—	—	—	—	—	21,368	21,368

(注)「調整額」の金額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「派遣・紹介事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社である株式会社ビースタイルスマートキャリアが株式会社キカリから労働者派遣事業を譲り受けたことにより、新たにのれんが発生しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、7,705千円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	102,295千円	93,005千円
のれんの償却額	—千円	214千円

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2026年2月13日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことについて決議いたしました。

1. 株式分割の目的

株式を分割することにより、当社株式の投資単位当たりの金額を引下げることで、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2026年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記録された株主の所有する当社普通株式を1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

①株式分割前の発行済株式数	1,454,237株
②今回の分割により増加する株式数	1,454,237株
③株式分割後の発行済株式数	2,908,474株
④株式分割後の発行可能株式総数	9,996,000株

(注) 上記の発行済株式総数は、2026年2月12日現在の情報に基づいておりますが、株式分割の基準日までの間に、新株予約権の行使等より株式数が増加する可能性があります。なお、当第3四半期連結会計期間の未日後、2026年2月12日までの間に、新株予約権の行使により1,412株の新株の発行を行っております。

(3) 分割の日程

①基準日公告日(予定)	2026年3月10日(火曜日)
②基準日	2026年3月31日(火曜日)
③効力発生日	2026年4月1日(水曜日)

(4) 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、2026年4月1日の効力発生日と同時に新株予約権の1株当たりの行使価額を以下のとおり調整いたします。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第1回新株予約権	195円	98円
第3回新株予約権	214円	107円
第4回新株予約権	214円	107円
第5回新株予約権	214円	107円
第6回新株予約権	214円	107円
第7回新株予約権	214円	107円
第8回新株予約権	214円	107円
第9回新株予約権	214円	107円
第10回新株予約権	214円	107円
第11回新株予約権	214円	107円
第12回新株予約権	1,827円	914円

3. 定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2026年4月1日をもって、当社定款第6条で定める発行可能株式総数を変更いたします。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は、以下のとおりです。

(下線は変更部分を示しております。)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>499万8,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>999万6,000株</u> とする。

(3) 定款変更日程

効力発生日 2026年4月1日

4. その他

資本金の額の変更

今回の株式分割に際し、資本金の額の変更はありません。